

建築主：君津市
設計：有限会社荒井設計事務所
施工：株式会社新昭和
所在地：君津市中野地先

建築文化奨励賞

ユニバーサルデザインに配慮した建築物

明るいトイレが駅前空間創りの先導役

君津駅南口トイレ

JR君津駅周辺の住宅地開発は、近年の経済情勢の影響もあるのかやや遅滞しているようだ。

その結果、まだ街区もまばらで乗降客も少ない印象を受ける駅だが、駅前にはまさに街の玄関口、その空間は公共機能充足に加え、街のイメージ創出も求められる。

そこでまず必要となる清潔で安全な公共トイレだが、一般的にはその出入を人目が避けられるよう、目立たぬ配置や、目隠しボードが工夫されることも多い。という常識で見ると「これがトイレ」と驚くほどカラフルで明るいこのトイレは、まだ未整備の駅前であってシンボルのように目立つ存在だ。

中庭のゆとりもある建築デザインはシンプルで好印象、夜間照明の明るさも、保安もかねて駅前空間演出までを引き受けている。

屋外の公共空間は、それを構成する各施設の事業主体が異なるため、相互のデザイン調整が望まれる。特に先行して建設される施設は、その後の各施設デザインへ影響を与えることになる。

トイレのデザインが駅前空間の先導役とはユニークな例を生むことになりそうだ。

(野口瑠璃)

(撮影/ (有) 多摩フォート)



広場からの夜間全景



待合いスペースと通路

選考の基準

1. 千葉県内において完成(増築、改築、リフォームを含む)し、現在良好に管理され、また、使用されている建築物(群)で、この表彰趣旨に沿っているもの。
2. 機能性やデザインなど総合的にみて優れた建築物であり、次のいずれかに該当するもの。
 - ①地域の特性や周辺の環境に十分配慮され、建築物(群)と外部空間が一体となって魅力ある景観を創出し、地域の景観形成に寄与しているもの。
 - ②3年以上の創意工夫に富んだ継続的な活動により上記①の維持向上がなされているもの。
 - ③誰もが公平に、安全に、安心して、そして快適に利用できるよう配慮され、社会への参加や日常の生活が容易に出来るような環境整備がされているもの。
 - ④エネルギーや資源の高度な有効利用を図ったり、自然を取り入れた建築の工夫や、地域の生態環境や防災に寄与する取り組みなどによって地域環境と親和させるなど、人と環境に対して健康快適な建築環境の向上について配慮されているもの。
3. 建築基準法等の各法令に適合しており、かつ近隣等との紛争が生じていないもの。

千葉県建築文化賞選考委員会

委員長 北原 理雄：千葉大学大学院教授

副委員長 岩村 和夫：武蔵工業大学環境情報学部教授

委員 青柳 英俊：社団法人千葉県建築士会会長

委員 岡部 明子：千葉大学大学院准教授

委員 夏目 幸子：建築家・千葉県医療技術大学校講師

委員 野口 瑠璃：工業・環境デザイナー

【敬称略 委員は五十音順】

第15回千葉県建築文化賞にご応募いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。応募総数57点の中から5点が千葉県建築文化賞、1点が千葉県建築文化奨励賞に選定されましたが、応募作品はすべて、優れた特徴をもった質の高い作品でした。

作品に携われた皆様に敬意を表し、今後ますますのご活躍を期待しております。

(千葉県建築文化賞選考委員会事務局)